

◆ 協働の事例集の検証グループワーク

1. 今回の目的

協働の事例集【事前課題】にて抽出した回答をもとに以下の要領で協働を進める上での、仕組みや工夫など上手くいったポイントを整理し、現在のマニュアルを検証するための材料として共有する。

2. 班分け及び担当事例

A 班

田中会長 平岩委員 永崎委員 岡田委員 山本委員

【事例】伊丹西高校×高司まち協、ここおる、にこりたす

B 班

橋之爪副会長 松村委員 大関委員 龍見委員

【事例】売布まち協、西谷栗園、ちょうちょ

3. グループワークから発表までの流れ

【グループワーク】

miro(オンラインホワイトボードツール)をベースにし、必要に応じて模造紙・付箋を使用する。

- ◆ 各事例ごとに抽出した要素(上手くいったポイント・その他)同士それぞれの共通点を見つける。

- ① 「上手くいったポイント」を整理し、似ているポイントごとにグループをつくる。
- ② 「その他」についても、「上手くいったポイント」が含まれている場合があるため、整理し、似ているものごとにグループをつくる。
- ③ ②の際に含まれていた「上手くいったポイント」を①で整理したグループに振り分けまたは新たなグループをつくる。

- ◆ 「上手くいったポイント」ごとの特徴を考える。

- ④ ③の「上手くいったポイント」のグループごとに、共通する特徴を表すカテゴリー名をつける。

※事前に提出いただいた意見や、他の意見を見て新たに気付いたことがあれば、当日の議論に反映可能。

【発表】

- ⑤ 各班5分を目途に話し合った内容について発表を行う。(あらかじめ発表者を決めておく)

4. 今後の流れ

【9月18日(金)以降】

- ① 事務局にて各事例で整理されたカテゴリーを取りまとめる。

【次回11月13日(金)第25回 TaCoLAB マニュアルの検証】

- ② ①をもとに協働のマニュアルの7ステップのどこに関連するものかを確認する。
 - ③ ②を参考に自由に意見交換を行いながら、現在のマニュアルへ反映すべきものを検討する。
- ※次回のマニュアルの検証以降、意見交換メインの段階に移ります。